

# 2009年度のCSR活動ダイジェスト

## 1 専門部署の発足

近年、社会やお客様から期待されるCSR活動は、法令遵守などの要請だけでなく、持続可能な社会実現に向けた貢献について、より積極的な対応が必要となってきています。当社では、社会環境の変化を勘案しその重要性からCSR活動体制の強化を目指し、2009年10月より専門部署としてCSR推進室を新たに発足させました。この体制の下、社会やお客様から期待されるCSR活動に積極的に対応し、企業価値の向上を目指します。

## 2 事業活動を通じてCSRに取り組む

TDKでは、社会から一層必要とされる企業になるため、「CSR観点での重要な活動項目」として4つの取り組みを抽出しています。この内容を、年度計画にも「CSR

活動」として盛り込みました。これは、TDKが事業活動を通じてのCSRへの取り組みをより強化していくことを意味しています。

※「CSR観点での重要な活動項目」の内容はP.6をご覧ください。

## 3 ダイアログの実施

TDKは、ステークホルダーの皆様との対話などを通じて、社会的課題認識やTDKに対する期待を把握することが重要と考えています。2009年5月に外部有識者をお招きしての初のダイアログを実施。TDKのCSR活動への期待についてご意見と助言をいただきました。

## 4 TDK CSRセルフチェックの実施

2009年1月に、TDKの生産拠点におけるCSR活動の基軸を「EICC※とJEITA※」とすることを決定したのに

伴い、これに準拠した「TDK CSRセルフチェック」を作成し、展開を始めました。これは、各生産拠点が、「安全衛生および環境マネジメント」、「労働管理および倫理行動」、「品質・安全性」、「情報セキュリティ」についての自己評価を行うとともに、TDKグループのCSR活動の把握と同時に、さらなる活動の充実を目指すものです。

2009年4月よりモデル工場での実施を皮切りに、TDKグループの主要な生産拠点で調査を行いました。

※EICC：2004年にアメリカを中心に制定された電子業界行動規範。  
※JEITA：社団法人電子情報技術産業協会。2006年にサプライチェーンCSR推進ガイドブックを策定。

## 5 CSRレポートの発行

1999年に環境報告書を発行して以来、2003年からは報告内容を拡充し、2006年からCSRレポートとして発行を継続しています。CSRレポートを社会とのコミュニ

ケーションツールとして位置づけ、TDKの考えや活動内容をわかりやすく皆様にお伝えすることを目指しています。

## これからのTDKグループ

2009年度に実施した各部門へのヒアリング、TDK CSRセルフチェックの結果や、社外専門家からのご意見を踏まえ、TDKグループとしてのCSR活動の充実と強化を図っていきます。さらに、各種研修やe-learningを通じたCSR社内啓発を推進し、一人ひとりの従業員がCSRを主体的に捉え、日々の業務の中で実践していけるよう、意識を高めていきます。

また、CSRセルフチェックを定期的実施するとともに、お客様からのCSR調査対応や、SRI対応については、引き続き適時、適切に対応してまいります。

### これまでの活動年表

1935	創業
1967	社是、社訓を制定
1993	TDK環境ボランティアプラン策定
1997	三隈川工場でISO14001 (環境マネジメントシステム) 認証取得
1999	グリーン調達開始 環境報告書の発行開始
2002	鉛フリーはんだに対応した電子部品の量産化技術を確立 「TDK環境活動2010」策定
2002	企業倫理委員会発足 (2005年より企業倫理・CSR委員会に名称変更) TDK企業倫理綱領制定
2004	全社システムによるOHSAS18001 (労働安全マネジメントシステム) 認証取得
2005	CSR推進部会発足
2006	TDKの考えるCSRについて「社是の実践と企業倫理の追求」と定義
2007	製造全拠点でゼロエミッション達成
2009	TDKとしての生産拠点CSR活動の基軸を「EICC+JEITA」とすることを決定
	⋮

### 2009年度のCSR関連活動

